



## 今回は平成30年度のSGH事業計画についてお伝えします。

### ◇ 研究主題： 国際的な視野をもち社会を変革するリーダーの育成

4年間の蓄積を基盤に、「課題解決型研究」「国際貢献活動」「国際交流活動」を軸とした生徒の活動を、「授業改善」「キャリア教育」を通じて支援するプログラムを展開する。目標とする「国際的視野をもち社会を変革するリーダーの育成」を達成し得る効果的な方策の研究開発を進め、SGH事業の充実を図る。

### ◇ 1年生・課題解決型研究

1年生は、坂田隆文教授（中京大学総合政策学部）の指導の下、課題解決型研究に関する基礎的スキルを学ぶことから始める。各クラスでグループを編成し、地域密着型のグローバル課題を研究する過程で、コミュニケーション力や課題発見・解決力を高める。

昨年に引き続き今年度もインバウンド誘致を学年共通テーマとする。地域の自然や文化、産業の特性を生かした観光開発の道を模索し、“持続可能な地域開発”をめざす。研究成果は日本語プレゼンにまとめ、代表チームによるプレゼン大会を実施する。

### ◇ 2年生・課題解決型研究

2年生は、1年次に習得した基礎的スキルや知識を活用し、各クラスで結成したグループごとに、「持続可能な開発目標」（SDGs）に沿った具体的テーマを選定し、課題解決に向けた具体的提案、あるいは効果的な啓発活動についての研究を推進する。専門家や大学生とのディスカッション、フィールドワークやボランティアなどの実践活動を通じて研究を深める。研究成果は英語プレゼンにまとめ、代表チームによるプレゼン大会を実施する。

### ◇ SGHアウトリーチ（SGHに関わる貢献活動）

大学・企業・行政機関・NPO等の外部団体との連携し、国際社会や地域の課題に取り組む計画を策定し実施する。SGH事業の研究成果を広く外部に発信する広報活動を展開する。

- (1) **ダイバーシティ SEKIシンポジウム** 連携先：関市、中部学院大学、当事者団体ほか  
関市総合福祉会館で7月1日に実施予定。本年度はLGBTをテーマとする。本校生徒が企画・運営の中心となり、当日は発表も行う。
- (2) **関高祭 SGHカフェ** 連携先：スターバックス社、農業法人PLUS、岐阜農林高校ほか  
フェアトレード、アグリビジネス、地産地消をテーマとしたカフェを、文化祭第一日目（9月3日）に開催予定。
- (3) **岐阜県博物館企画展** 連携先：岐阜県博物館  
中国東北の歴史に関わる個人所蔵の文化財（石器類・写真・書籍等）を公開展示する（9～10月）。研究成果は日本考古学協会や県博物館イベントで発表する。中国現地の研究機関に、研究成果をまとめたデータを贈る予定。日中平和友好条約締結40周年を記念する事業とする。
- (4) **美濃加茂市多文化共生プロジェクト** 連携先：美濃加茂市、加茂農林高校ほか  
外国人児童への学習支援（9月28日）。加茂農林高校の高校生ブランドJKS（ジェイクス）ワークショップへの協力（10月13日）。多文化共生やアグリビジネスへの理解を深める実践的活動とする。
- (5) **関高・学術シンポジウム** 連携先：中部学院大学ほか  
SGH活動に関わった研究者及び本校生徒が企画する学術シンポジウムを開催。本年度は12月16日に実施予定。SGH活動や学術研究の成果を広く一般に公開することを目的とする。
- (6) **大型類人猿の保全啓発活動** 連携先：JMC、京大霊長類研究所、中部学院大学ほか  
野生のゴリラやチンパンジーなどの大型類人猿（絶滅危惧種）の保全を啓発する活動。サイエンスワールドで行われるサイエンスフェスティバル（2月初旬）で実施予定。小学生の子どもや保護者がおもな対象。
- (7) **てにておラジオ出演** 連携先：てにておラジオ、まちかど大学ほか  
岐阜市のコミュニティFM「てにておラジオ」に関高生が出演。大学教員らとともに、

関高SGH活動や学問最前線の動向を紹介する。ぎふメディアコスモス内で収録。

## ◇ 国際交流活動

国際交流の一環として、英国ヘイドンスクールとの姉妹校提携、海外研修、校内イベント等の交流事業を推進する。

### (3) 英国のヘイドンスクールとの姉妹校提携

ロンドン郊外に位置するヘイドンスクールは本校の姉妹校であり、過去2回にわたって、本校教員及び生徒が訪問し、グローバル課題やたがいの文化・社会に関する意見交換・交流活動を行った。今年度も訪問予定である。

### (2) ベトナム研修

平成27年度、はじめてベトナムを訪問、地元企業のグローバル展開やJICA草の根事業の現状について学んだ。平成28年度はベトナムのファンボイチャウ高校、ダナン医薬技術大学を訪問し、学生と交流事業に参加した。平成29年度は、ファンボイチャウ高校、フエ大学を訪問し、今年度も同様のプランで学生間交流を企画している。

### (4) グローバル・アウェアネス・デイ

昨年度12月26日、難民支援NPO職員及び難民当事者（アフリカ人女性）を招いての英語交流イベントを実施した。今年度も、同様の企画を計画中である。

## ◇ SGHフロントランナー

完成度の高い研究に関しては、外部団体の審査を受けることを積極的に促し支援を行う。部活動や有志生徒を軸に研究を進めた生徒が、日本考古学協会、日本霊長類学会、日本動物学会、プリマーテス学会、日本子ども学会などで研究発表を予定している。

そのほか、英語スピーチコンテスト、英語プレゼン大会、科学の甲子園、化学グランプリ等の各種コンテストにも、例年通り、積極的な参加を促す予定である。指導に関しては本校教員のほか、連携する大学や企業、NPO法人等の専門家等、外部有識者からの助言や指導を受けることとする。

## ◇ 授業改善

日常における学習活動の中心は授業であり、その改善は全生徒にとって大きな効果を生むものとする。「高等学校学習指導要領」記載の学力3要素（知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度）を育成し、さらに高次元での統合をめざす授業改善を推進する。育成した力をSGH活動（課題解決型研究・国際貢献活動）に活かしつつ、さらに各個人のキャリアプランに基づく進路開拓に活用する。

### (1) 校内研修

- ① 定期的実施する各教科会や学年ごとの教科担当者の打合会及び相互の授業参観において、授業内容や授業形態を研究→実践→反省（PDCA）し、指導内容や指導方法を改善する。その際、有効な指導法を模索していく。併せて、年間指導計画やシラバスの見直しも行う。

<授業形態の例>

- ・電子機器（パソコン・タブレット端末・電子黒板等）を利用した授業
  - ・コミュニケーション力・言語活用能力を高める授業（ディベート等）
  - ・課題発見・解決力を高める授業展開
- ② 教科ごとに研究授業を実施する。また年2回（6月・11月）の校内職員向けの授業公開週間（2週間ずつ）を設定するとともに、生徒による授業評価及び教員による相互の授業評価を行い、主題実現に向けた職員の授業力向上を図る。
  - ③ 先進校視察の報告会を職員会議や教科ごとに実施する。また職員対象の外部講師による研修会も実施して職員の授業力向上や意識改革の糧とする。

### (2) 教員研修の充実

先進的研究や人材開発の分野で成果を挙げている大学・学校・企業などの関係機関を、各教員自ら調査・訪問し研鑽を積む。研修成果は職員研修を通じて校内で共有し、さらに授業において還元する。

## ◇ キャリア教育

課題研究や貢献活動を推進する上で、生徒一人ひとりの知的好奇心や公德心を喚起し、課題研究や貢献活動に向かう意欲をおのずと促進するような働きかけとして、生徒全員を対象とした講演会のほか、キャリア教育、国際交流に関する諸事業を下記のように用意する。

### (1) SGH講演会

グローバル課題や国際貢献をテーマとした講演会を以下のように設定している。

- ① 平成30年6月19日実施予定 演題「アメリカ人蔵人コディの挑戦」(仮題)  
講師： ブレイズフォード・コディ氏 (渡辺酒造店)
- ② 平成30年11月13日実施予定 演題「ピラミッドの謎を探る」(仮題)  
講師： 河江 肖剰氏 (名大人類文化遺産テキスト学研究センター共同研究員)

### (2) 社会連携セミナー・さくら塾

大学や企業、行政機関等の各分野で活躍中の方々を講師とする希望者対象講演会を、社会連携セミナー：「さくら塾」と題して、年11回程度、企画する。グローバル課題、国際貢献、持続可能な地域開発等をテーマとする。

### 3) SGHリサーチツアー

大学や研究機関を訪問し、施設見学や実験、フィールドワーク、語学セミナー等を受講する。現在は下記のとおり、企画を進めている。

- ① 看護・医療体験セミナー 中部学院大
- ② 先端科学リサーチツアー  
東大先端科学技術研究センター、早稲田大学先端生命医科学センター  
名古屋大学工学部、岐阜大学応用生物科学部
- ③ 企業見学  
名古屋医工連携インキュベータ、関市内企業
- ④ 語学講座  
名古屋外国語大
- ⑤ 霊長類学野外実習&セミナー  
日本モンキーセンター、京都大学霊長類研究所、東山動植物園等

### (4) 未来創造週間

大学での研究、将来の職業や将来の生き方を考えるための学年一斉の催しを「未来創造週間」と銘打って、各学年で実施している。

- ① 職業別ガイダンス 1年生全員対象  
・様々な職業分野で活躍する社会人8~9名を講師とする。  
・平成31年1月7日実施予定
- ② 先輩を囲む会 2年生全員対象  
・各界で活躍する関高同窓生8~9名を講師とする。  
・平成31年1月17日実施予定
- ③ 校内オープンキャンパス 3年生全員対象  
・大学研究者8~9名を講師とする。例年、金沢大学に依頼。  
・平成30年6月26日実施予定